

## NEWS RELEASE

2018年11月22日  
学校法人 聖路加国際大学

### 国連エイズ合同計画（UNAIDS）と聖路加国際大学 日本とアジア太平洋地域におけるエイズ終結に向け協働（2018年11月30日）

国連エイズ合同計画（UNAIDS）と聖路加国際大学は、協力関係を強化し、アジア太平洋地域および日本でのエイズ流行の終結に向けた協働に取り組むことを目的とした連携協定を締結します。本協定を通じ、両機関が協働してアジアおよび太平洋地域において疫学・公衆衛生学における HIV・エイズ研究の推進を図ります。

協定調印式は11月30日、大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター日野原ホールにて行われ、UNAIDS 副事務局長、ガニラ・カールソン氏と聖路加国際大学理事長、糸魚川順が署名します。ガニラ・カールソン氏は2017年12月に国連事務総長、アントニオ・グテーレス氏により現職の任命を受け、今回の日本訪問では2018年の世界エイズデーに合わせ11月30日から12月2日の3日間、日本を公式訪問します。

世界エイズデーは毎年12月1日に定められており、HIVへの対応を世界の人々で考える機会となっています。今年のテーマは『感染の有無を知ろう（Know your status）』で、すべての人がHIV検査を受けることを奨励しています。治療を広め、HIVと共に生きるすべての人々が健康的で生産的な生活を送れるようにするためには、HIV検査が不可欠です。90-90-90目標を達成すること、また自分自身と愛する者を守るために人々がHIV感染を防ぐ選択をできるようにするためにも、検査は極めて重要です。

本協定調印式後、ガニラ・カールソン氏は、聖路加国際大学での世界エイズデー公式行事開式の挨拶を行います。翌日は大阪に移動し、UNAIDS 副事務局長として記念行事に出席します。大阪世界エイズデー啓発イベントでスピーチを行うほか、大阪市中央公会堂での世界エイズデー展示イベントへの訪問や、HIV対応の主要パートナーとの会合も予定されています。また第32回日本エイズ学会学術集会・総会「誰一人取り残さない」の公開市民フォーラムにおいてもスピーチを行う予定です。

\*本リリースは文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ等に送信しております。

#### 【お問い合わせ先】

学校法人 聖路加国際大学 広報室 TEL：03-6226-6366 Email：pr@luke.ac.jp